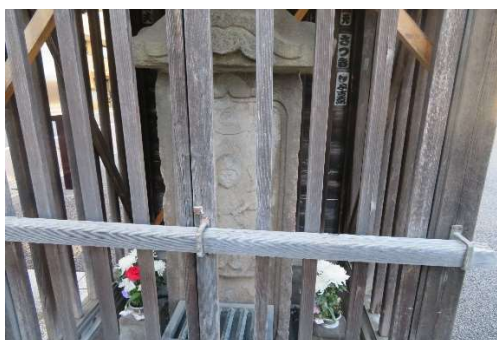


## 観明寺 板橋区板橋 3-25-1

当寺は、真言宗豊山派の寺で御本尊は正観世音菩薩です。創建年代は不明だが「新編武蔵風土記稿」には延宝5年（1677）10月に入寂した慶浄が中興開山とあります。江戸時代、板橋宿の寺として多くの人々の信仰を集めました。明治6年、当時の住職照秀和尚は、町の繁栄祈願のために、千葉の成田山新勝寺から不動尊の分身を勧請しました。現在も出世不動と呼ばれて親しまれています。なお板橋商店街の不動通りの名称は、このお不動様に由来します。境内に鎮座する稲荷神社は、もと加賀藩下屋敷内に祀られていた三稲荷の内の一社で、明治になって陸軍造兵廠が建設された際、当寺へ遷座されました。また参道入口にある庚申塔は、寛文元年（1661）8月に造立されたもので、青面金剛像が彫られたもので都内最古で昭和58年度に板橋区の指定有形文化財になりました。（板橋区教育委員会掲示より）



道路から直ぐに石柱



入り口近くにある庚申塔



加賀藩下屋敷にあった赤門



出世稲荷神社





成田山新勝寺から分身を勧請



教育委員会の説明版

